

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果の公表について

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果の概要がまとまりましたので、お知らせします。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 上記の取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の実施と内容

- (1) 調査実施日
令和6年4月18日(木)
- (2) 調査対象校・対象学年・対象児童生徒数
小学校107校 第6学年児童 約7,200人
中学校・中等教育学校54校 第3学年生徒 約6,700人
- (3) 調査内容
 - ア 教科に関する調査（小学校－国語・算数、中学校－国語・数学）
 - ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ②知識・技能を実生活のさまざまな場面に活用する力や、さまざまな課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
 上記の①と②を一体的に問う問題
 - イ 生活習慣や学習環境等に関する質問調査
 - ①児童生徒に対する調査（小学校69項目・中学校71項目）
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査
 - ②学校に対する調査（小学校81項目・中学校85項目）
指導方法に関する取り組みや、人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問調査

3 調査結果概要について

- (1) 教科に関する調査結果
 - ア 全国、千葉県、指定都市の平均正答率(%)と千葉市全体の結果(別添概要のp1)

小学校 第6学年	国語	算数	中学校 第3学年	国語	数学
	平均正答率(%)	平均正答率(%)		平均正答率(%)	平均正答率(%)
千葉市	68	65	千葉市	58	52
全国	68	63	全国	58	53
千葉県	67	63	千葉県	57	51
指定都市	68	64	指定都市	59	53
全国との比較	0	2	全国との比較	0	-1

※指定都市の値は公表された各指定都市平均正答率の平均値

イ 本市の調査結果に見られる特徴

①平均正答率より

- ・全国の平均正答率と比較して、本市の小学生は、国語は全国と同等、算数は2ポイント上回っている。中学生は、国語は全国と同等、数学は1ポイント下回っている。
- ・千葉県の平均正答率と比較すると、本市の小学生は、国語は1ポイント、算数は2ポイント上回っている。中学生は、国語、数学共に1ポイント上回っている。

②正答数の分布（別添概要のp 2～4）

- ・国語、算数・数学いずれの教科において、全国とほぼ同等の分布を示している。

(2) 児童生徒に対する質問紙の調査結果（別添概要のp 9～22）

ア 「将来の夢や目標を持っている、どちらかといえば持っている」

小学生→83.5%（全国82.4%より1.1ポイント高い）

中学生→64.2%（全国66.3%より2.1ポイント低い）

イ 「5年生まで（1、2年生のとき）の学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる、どちらかといえばできる」

小学生→86.0%（全国85.5%より0.5ポイント高い）

中学生→79.8%（全国80.2%より0.4ポイント低い）

ウ 「5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う、どちらかといえばそう思う」

小学生→82.0%（全国81.9%より0.1ポイント高い）

中学生→79.0%（全国80.2%より1.3ポイント低い）

エ 「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり2時間以上勉強をする」

小学生→30.0%（全国23.5%より6.5ポイント高い）

「全くしない」は4.6%（0.7ポイント低い）

中学生→35.3%（全国31.7%より3.6ポイント高い）

「全くしない」は7.4%（0.8ポイント高い）

オ 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う、どちらかといえばそう思う」

小学生→84.5%（全国83.8%より1.0ポイント高い）

中学生→77.6%（全国76.1%より1.5ポイント高い）

4 別添概要に公表されている図表一覧

(1) 問題別平均正答率一覧(%) [全国・千葉県・指定都市・千葉市] <令和3年度～令和6年度>

(2) 正答数分布 [全国・千葉市] <令和6年度>

(3) 全国平均正答率との差異から見る各学校の経年推移表<令和5年度と令和6年度の比較>

(4) 平均正答率の顕著な向上が見られた学校の取り組み事例<経年推移の比較から>

(5) 児童生徒質問紙調査より [千葉市・全国] <令和6年度>

[自己肯定感、将来の夢や目標等に関する意識]

- ・自分には、よいところがあると思うか
- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思うか
- ・将来の夢や目標を持っているか
- ・人の役に立つ人間になりたいと思うか

[ICT機器の活用に関する意識]

- ・5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用したか
- ・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っているか

- ・5年生まで(1、2年生のとき)の学習の中でP C・タブレットなどのI C T機器を活用することについて、次のことにどれくらい当てはまるか
 - ①自分のペースで理解しながら学習を進めることができる
 - ②分からないことがあった時に、すぐ調べることができる
 - ③楽しみながら学習を進めることができる
 - ④画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる
 - ⑤自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる
 - ⑥友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる
 - ⑦友達と協力しながら学習を進めることができる

[主体的・対話的で深い学び(個別最適な学びと協働的な学び)に関する意識]

- ・5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたか
- ・5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたか
- ・5年生までに(1、2年生のときに)受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていたか
- ・5年生までに(1、2年生のときに)受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていたか
- ・学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができているか
- ・学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができているか
- ・授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思うか
- ・授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいるか

[家庭での学習に関する意識]

- ・学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をするか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)
- ・土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をするか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

[地域・社会との関わりに関する意識]

- ・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思うか

5 今後の取り組み

(1) 児童生徒の確かな学力の定着を図るため、授業改善を推進する。そのために以下のよう取り組みを行う。

ア 市内全小中学校において、全国および千葉市学力状況調査の結果等をもとに自校の学力の傾向や課題を把握し、その改善に向けた学力向上アクションプランの見直しを行う。その際、教科の学習の中で1人1台端末をどのように活用していくのかについて、教科横断的な視点を大切にしながら児童生徒の活用機会の充実を図るとともに、家庭学習での積極的な活用についても全教職員で共有するようにして、学力の向上に生かす。

イ 全国学力・学習状況調査の結果から考察する改善点を示した「結果概要と授業改善のすすめ」を各学校に配付して、日々の授業での活用促進を図る。また、家庭学習での取組を含め、I C T機器を活用した実践例を収集し、「B e s t M i x G I G A 事例集」の格納数を増やしていく。

ウ 主体的・対話的で深い学びの実現のために、単元の学習の見通しをもたせて自己調整を促す支援をするなどして、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図れるようにする。

(2) 「教育だよりちば」や教育委員会のホームページ等を通して、授業における取組の様子や、ICT機器を活用した学習の効果、家庭学習の大切さ等について、広く保護者に発信する。

(3) 教育委員会関係各課と連携し、自己肯定感を高めるような指導方法や将来の生き方について考え、夢や目標を持つことができるようなキャリア教育を推進するよう学校に助言する。

ア 千葉県キャリア教育の基本方針「未来を拓くキャリア教育」を参考に、キャリアパスポートの活用を促進する。

イ 企業や各種団体、地域、家庭と連携を図りながら、職業体験学習（職場体験や出前授業等）を実施する。

6 公表日および公表方法

(1) 公表日

令和6年11月8日（金）

(2) 公表方法

市ホームページ

【URL】 <https://www.city.chiba.jp/kyoiku/gakkokyoiku/kyoikushido/26gakuryokutyousa.html>



問い合わせ先

【教科等の指導、今後の取り組み等に関わること】

教育委員会事務局学校教育部教育指導課 電話245-5981

【全国学力・学習状況調査の結果、データの分析に関すること】

教育委員会事務局学校教育部教育センター 電話285-0900